



International Baccalaureate®
Baccalauréat International
Bachillerato Internacional

国際バカロレア（IB）の教育とは



International Baccalaureate®
Baccalauréat International
Bachillerato Internacional

国際バカロレア（IB）の教育とは

国際バカロレア (IB) の教育とは

2019年11月発行の英語原本『What is an IB education?』の日本語版
2019年11月発行

本資料の翻訳・刊行にあたり、文部科学省より多大なご支援をいただいたことに感謝いたします。

発行者 非営利教育財団 国際バカロレア機構 (International Baccalaureate Organization) 15 Route des Morillons, 1218 Le Grand-Saconnex, Geneva, Switzerland

International Baccalaureate Organization (UK) Ltd
Peterson House, Malthouse Avenue, Cardiff Gate
Cardiff, Wales CF23 8GL
United Kingdom
ウェブサイト: ibo.org

© International Baccalaureate Organization 2019

国際バカロレア機構 (以下、「IB」という。) は、より良い、より平和な世界の実現を目指して、チャレンジに満ちた4つの質の高い教育プログラムを世界中の学校に提供しています。本資料は、そうしたプログラムを支援することを目的に作成されました。

IBは、資料の中で利用する多様な情報源について、情報の正確さと信憑性を確認します。ウィキペディアのようなコミュニティベースの知識源を使用する際には、特に留意します。IBは知的財産の原則を尊重し、利用する著作物すべてについて刊行前に著作権者を特定し、許諾を得るよう常に努力します。IBは、本資料で利用した著作物に対して許諾をいただいたことに感謝するとともに、誤記および遺漏がありました場合には、可能な限り早急に訂正いたします。

本資料に関するすべての権利はIBに帰属します。事前にIBから書面での承諾を得るか、「[Rules for use of IB Intellectual Property](#) (IBの知的財産に関する規則)」において明確に許可されている場合を除いて、形式と手段を問わず、本書のいかなる部分の複製、検索システムへの保存、および送信を禁じます。

IBの商品と刊行物は、[IB Store](#)ストアでお求めください (email: sales@ibo.org)。有償か無償かに関わらず、第三者 (チューターや教員養成の提供者、教育関連の出版社、カリキュラムマップの提供者や運営者、教師用資料のデジタルプラットフォームなど) がIBのエコシステムの中でIB資料を商用利用するためには、書面によるIBからのライセンス発行が必要です。ライセンスの申請はcopyright@ibo.orgまでご連絡ください。より詳細な情報はIBの[ウェブサイト](#)を参照してください。

IBの使命

国際バカロレア（IB）は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。



IBの学習者像

すべてのIBプログラムは、国際的な視野を持つ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。

IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。

探究する人

私たちは、好奇心を育み、探求し研究するスキル身に付けます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じて持ち続けます。

知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えにに取り組みます。

考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語や様々な方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

信念を持つ人

私たちは、誠実かつ正直に、公平な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々が持つ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とその結果に責任をもちます。

心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経歴の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多岐な視点を求め、価値を見出し、その経験を糧に成長しようと努力します。

思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界をよくするために行動します。

挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考え方や方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組みます。

バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちが生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えおよび経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

この「IBの学習者像」は、IBワールドスクール（IB認定校）が価値を置く人間性を10の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域や社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。

目次

はじめに	1
教育を通じてより良い世界を築く	1
「指導のアプローチ」と「学習のアプローチ」(ATL)	7
参考文献	10

教育を通じてより良い世界を築く

より良い、より平和な世界を創造するための価値観、知識、スキルを若者に与えるという、ひとつの使命を共有した学校、教育者、児童生徒の世界的なコミュニティを想像してみてください。それが国際バカロレア（IB：International Baccalaureate）です。

IBのプログラムのねらいは、児童生徒が自身のまわりの世界のもつ複雑性を理解し、未来のために責任のある行動をとるために必要なスキルと性質を身につけられるような教育を提供することにあります。学問領域、文化、国家、地理的な境界を越え、また批判的な取り組みを重視することで、新しい発想や有意義な関係の構築を刺激するような教育を提供しています。

IBは1968年に創設されたディプロマプログラム（DP）から始まりました。DPは、高度でバランスのとれた教育を提供し、大学への入学資格として国際的に認められることで、世界のどのような場所や文化圏においても継続して受講可能な教育として考案されました。また、それにより異文化への理解と尊敬を促すというより深い目的に沿ったものとなっています。

IBはその後、1994年に中等教育プログラム（MYP：Middle Years Programme）を、そして1997年に初等教育プログラム（PYP）を設置し、国際教育に取り組む、3歳から19歳までの幼児および児童生徒を対象とした一貫教育プログラムを確立しました。2012年のキャリア関連プログラム（CP：Career-related Programme）の導入により、16歳から19歳までの生徒に国際的な教育課程の新たな選択肢が提供され、IBの一貫教育はより豊かなものになりました。

これら4つのIBプログラムは、単独、もしくは組み合わせで実施することができます。いずれも共通の価値観に根ざしていて、生涯学習者として、複雑かつ相互に絡み合った世界を理解するだけでなく、その世界に対して前向きな影響を及ぼせるよう、生徒を育てていくことを重視しています。これらの目標は、以下に挙げるIBの意欲的な使命に要約されています。

国際バカロレア（IB）は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

本資料『国際バカロレア（IB）の教育とは』は、主に教育者向けに書かれたもので、私たちの教育理念の概要を示したものです。私たちの使命と理念がIBのプログラムをどのように形作り推進するかを説明しています。

そのために、IBのすべてのプログラムの中心となる4つの基本的かつ相互に関係する要素を探究しています。

1. 国際的な視野
2. 「IBの学習者像」
3. 幅広く、バランスのとれた、概念的で、相互につながりのあるカリキュラム
4. 「指導のアプローチ」と「学習のアプローチ」(ATL: approaches to learning)

国際的な視野

すべてのIBプログラムのねらいは、人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識した国際的な視野をもった人間を育てることにあります。このねらいの中心にあるのが「国際的な視野をもつ」ということです。

国際的な視野とは、多面性のある概念です。世界に対して心を開き、また人間というのは互いに深くつながった存在なのだと認識するような考え方、あり方、行動を指します。

世界に対して開かれた人であるためには、世界を理解しなければなりません。したがって、IBのプログラムは、ローカルおよびグローバルのさまざまな課題や考え方を持続的に探究する機会を児童生徒に提供します。目の前の状況や境界線を越えて物事を見ようとするこのような姿勢は、グローバル化と新しい技術によって地域、国内、世界といった従来の区別があいまいさを増している現代社会において必要不可欠です。

IBの教育は、児童生徒が自分自身のものの見方、文化、アイデンティティーを振り返り、そして他者のそれに対しても同様の振り返りを促すことで、国際的な視野を育みます。IBの学習者は、多様な信念、価値観、および経験と積極的にかかわり、様々な文化や学問領域に視野を広げて考え、協力することを学びます。これにより、より平和な世界に向けて進歩するうえで必要な理解を発展させます。

さらに、IBの教育は、多言語主義を通じて国際的な視野の発達を促します。複数の言語を学習する、または複数の言語で学習することが、すべてのIBプログラムで求められます。これは、児童生徒が複数の言語でコミュニケーションすることにより、自分自身の言語と文化、そして世界観が数あるなかのひとつにすぎないことを認識し価値を見いだすようになるという、IBの信念に基づくものです。それにより、多様な文化への理解と敬意を育むすばらしい機会がもたらされます。

また、国際的な視野は、グローバルなかかわりに焦点をあてたり、コミュニティにおける有意義な奉仕活動に従事することでも育てることができます。これらの要素は、権力や特権について批判的に考え、未来の世代のために地球とその資源を託されているのだと自覚するきっかけをもたらします。また、これらの要素は、IBのすべてのプログラムが行動に焦点をあてていることを強調します。すなわち、すべての人にとってより平和で持続可能な世界をもたらすため、認識や理解を超えて、取り組み、行動し、意義のある変化を起こすことに対する焦点です。

本資料に記載されたIB教育の各構成要素は、一体となって、IBの包括的なねらいである国際的な視野の発展を支えます。

「IB の学習者像」

IB の教育の中心に児童生徒が置かれていることを顕著に表しているのが、「IB の学習者像」です。

10 の人物像は、IB 教育の全人的（ホリスティック）な性質を反映していて、好奇心や思いやりといった資質を育み、知識やスキルを発展させることの重要性を強調しています。同時に、認知的発達だけでなく、児童生徒の社会的、感情的、身体的な健全性に注意を払い、児童生徒が自分、他者、そして周辺の世界に敬意を払うよう確実に学ぶことを強調します。

IB の教育者は、児童生徒が IB 教育の過程でこのような人間性を培い、彼らが成熟するにつれ、より強固かつ洗練された方法でそれらを実践していけるように支援します。こうした人間性の発展は、より良い世界を築くことに貢献できる国際的な視野をもった児童生徒を育てるための基礎となります。

人物像	説明
探究する人	私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。
知識のある人	私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。
考える人	私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。
コミュニケーションができる人	私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。
信念をもつ人	私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

人物像	説明
心を開く人	私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見いだし、その経験を糧に成長しようと努めます。
思いやりのある人	私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。
挑戦する人	私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化と機知に富んだ方法で快活に取り組みます。
バランスのとれた人	私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。
振り返りができる人	私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

IBの教育は、このような学習者像を育むことにより、ひとりで、また他の人と協力して、生涯学び続けるための力を若者にもたらしめます。

幅広く、バランスのとれた、概念的で、相互につながりのあるカリキュラム

IBの4つのプログラムそれぞれが、発達段階に適したきめ細やかなカリキュラムまたはカリキュラムの枠組みを提供しています。いずれも、幅広く、バランスがとれ、概念的で、かつ相互につながりのあるカリキュラムです。

IBのプログラムは、幅広く、バランスのとれたアカデミックな学習と学びの体験に触れる場を児童生徒に提供します。概念的な学習を奨励し、知識を習得するための枠組みをつくり、また体系化を可能にする有力な考えに焦点をあてています。こうした考えは、すべ

での教科にとって関連性が高く、学習内容を統合し、かつカリキュラムに一貫性をもたらすのに役立ちます。

IB のすべてのプログラムが、学習したことの間につながりを見だし、学問領域の間の関係を探究し、個別の科目の枠にとらわれずに世界について学ぶことの重要性を強調しています。そして、学習を自分の周囲の世界に結びつけられるような真の機会を児童生徒に提供することを重視しています。

4つのプログラムはすべて、国際的な視野と IB の学習者像を育むという共通の目標で支えられつつ、それぞれに独自のアイデンティティと発達段階に適した要素をもっています。以下に例を挙げます。

- ・ PYP では、従来の教科の枠を越えた学習をねらいとします。児童は、以下の6つの教科横断的なテーマを探究します。「私たちは誰なのか」、「私たちはどのような場所と時代にいるのか」、「私たちはどのように自分を表現するのか」、「世界はどのような仕組みになっているのか」、「私たちは自分たちをどう組織しているのか」、そして「この地球を共有すること」です。
- ・ MYP では、PYP の教科横断的なテーマをさらに発展させ、以下の6つのグローバルな文脈を探究します。「アイデンティティと関係性」、「個人的表現と文化的表現」、「空間的・時間的位置づけ」、「科学技術の革新」、「公平性と発展」、そして「グローバル化と持続可能性」です。
- ・ DP は、6つの教科と DP の3つの「コア」の要素で構成されています。コアの要素のひとつである「知の理論」(TOK : theory of knowledge) では、「私たちはどのようにして、知っていることを知るのか」という根源的な問いに対する探究を通して、自分のもっている観点と仮定に対して認識を深めるよう生徒に促します。
- ・ CP では、DP のコースの学習、キャリア関連学習、および CP の4つのコアの要素を組み合わせます。コアの要素のひとつである「パーソナルスキルとプロフェッショナルスキル」は、生徒が将来的に職場で遭遇しうる個人的および職業的なさまざまな状況に効果的に対応するための準備を行うことに焦点をあてます。

また、4つの IB プログラムのすべてにおいて、最終プロジェクトを完了させる必要があります。PYP では「発表会」(エキシビション)、MYP では「パーソナルプロジェクト」または「コミュニティープロジェクト」、DP では「課題論文」(EE : extended essay)、CP では「振り返りプロジェクト」です。これらのプロジェクトは、知識、理解、スキルを深めて発表し、また自分自身の学習の歩みを祝福する機会を児童生徒にもたらしめます。

カリキュラムの目標をサポートするものとして、意味のある評価は欠くことができません。このため、IB のプログラムでは、評価がさまざまな形で継続的に行われ、カリキュラムの重要な一部となっています。IB 認定校では、児童生徒の学習を評価するために多様な戦略とツールを用います。ここで重点を置くのが、評価データを解析し指導と学習に役立てることの重要性と、自分や他者の成果物の評価方法を学ぶことによって児童生徒にメリットがもたらされると認識することです。

また、MYP、DP、CP では、IB により認証されたさまざまな評価を使用します。これらの評価は、妥当性と信頼性の間でバランスをとることに配慮して、例えば、単に事実を暗記

するのではなく、より高次の思考を生徒に実証させるような評価課題を課します。IBは高水準でチャレンジに満ちたプログラムという評判を確立するために多大な努力を払ってきましたが、こうした厳密な評価こそが、その評判を維持することにつながります。

「指導のアプローチ」と「学習のアプローチ」(ATL)

現代の教育研究に基づいた IB の 6 つの「指導のアプローチ」と 5 つの ATL は、IB ワールドスクールの教育者と児童生徒に指針と明確な焦点をもたらします。これらのアプローチは、IB 教育の目標を教室内で確実に達成するうえで非常に重要な役割を果たします。

これらのアプローチは、探究、行動、振り返りのサイクルを中心に据え、問いかけること、行動すること、思考することの相互作用を通じて、教師と児童生徒の日々の活動を支えていきます。また、人間関係も非常に重視しています。これは、教育的な成果とは教師と児童生徒の関係によって深く形成されるものだという IB の信念を反映しています。また、人々がさまざまに協力して、意味を見だし、世界を理解していく過程を称える姿勢を示しています。

指導のアプローチ

すべての IB のプログラムで、同じ 6 つのアプローチが指導を支えています。これらのアプローチは、意図的に幅広く策定されていて、教師が置かれた状況と児童生徒のニーズを最もよく反映したストラテジーを選択できるよう柔軟につくられています。

すべての IB プログラムに共通する指導のアプローチは、以下のとおりです。

- ・ 探究を基盤とした指導：児童生徒がそれぞれ独自に情報を入手し、独自の理解を構築することが重視されています。
- ・ 概念理解に重点を置いた指導：各教科の理解を深め、つながりを見だし、新しい文脈へと学びを転移できるようになるために、概念を探究します。
- ・ ローカルな文脈とグローバルな文脈を反映した指導：実際の文脈と例を用いて指導し、新しい情報を自分の体験や周囲の世界に結びつけて消化することを児童生徒に奨励します。
- ・ 効果的なチームワークと協働を重視する指導：児童生徒間のチームワークと協働を促すだけでなく、教師と生徒の協働関係もこれに含まれます。
- ・ 学習への障壁を取り除いた指導：多様性に価値を置き、インクルーシブな指導を行います。児童生徒のアイデンティティを肯定し、すべての児童生徒が適切な個人目標を設定して追求できるよう、学習機会を創出することを目指します。
- ・ 評価を取り入れた指導：評価は、学習成果の測定だけでなく学習の支援においても重要な役割を果たします。また、効果的なフィードバックを児童生徒に提供することの重要性も、このアプローチでは認識しています。

学習のアプローチ (ATL)

ATL の焦点は、学び方を学ぶことが教育の基本であるという IB の信念に根ざしています。

相互に関連するスキルの5つのカテゴリーは、年齢を問わずIBのすべての児童生徒が自己管理のできる学習者になれるよう、力をもたらすことをねらいとしています。これには、良い質問をし、効果的な目標を設定し、自分の志望を追求し、それを達成する意志の強さをもつための方法を知ることが含まれます。また、これらのスキルは、児童生徒の主体性をサポートし、学習を能動的でダイナミックなプロセスと理解するよう、児童生徒に奨励します。

すべてのIBプログラムにわたって、同じ5つのカテゴリーを追求し、ただしそれぞれのプログラムで、発達段階に適した方法でスキルを強調します。5つのカテゴリーは以下のとおりです。

- ・ 思考スキル — 批判的思考、創造的思考、倫理的思考などが含まれます。
- ・ リサーチスキル — 情報を比較する、対照する、検証する、優先順位をつけるなどのスキルが含まれます。
- ・ コミュニケーションスキル — 口頭および記述でコミュニケーションする、効果的に聞く、議論を組み立てるなどのスキルが含まれます。
- ・ 社会性スキル — 良好な関係を築いて維持する、他者の話を聞く、対立を解消するなどのスキルが含まれます。
- ・ 自己管理スキル — 時間や課題の管理といった管理・調整スキル、および感情やモチベーションの管理といった情意スキルの両方が含まれます。

積極的で思いやりのある生涯学習者を育てるというIBの使命を支えるうえで、これらのスキルの開発が重要な役割を果たします。これらのスキルの領域は、個別のカテゴリーとして提示されていますが、それぞれの間に密接な関係と重複する領域があることから、相互に絡み合ったカテゴリーと理解すべきです。

結論：教育者の世界的なコミュニティ

IBはこれまで常に、挑戦的な考え方で物事に批判的に向き合うとともに、不変の根本原則へのコミットメントと革新や改善への意欲を組み合わせる姿勢を大切にしてきました。それゆえに、本資料『国際バカロレア (IB) の教育とは』は、単に情報を提示するだけでなく、IBの教育者のコミュニティ内にさらなる会話と議論を刺激することを目的として策定されています。

IBとそのプログラムは、さまざまな点において独創的です。IBは非営利団体であるため、株主がおらず、収入の余剰がすべて事業に投資されることを意味します。また、政治的・商業的な利権に依存せず独立の立場を保っていて、IBプログラムは世界各地の非常に多様な学校で提供されています。これには、大小さまざまな規模の公立校、私立校、国立校、そしてインターナショナルスクールが含まれます。

IBの最も特別な特徴のひとつは、より良い世界の構築に教育が寄与するという共通の信念でつながれた教育者の世界的なコミュニティをまとめあげていることです。IBのプログラムとカリキュラムは、それぞれに対して定期的な見直しが行われていて、IBの児童生徒に可能なかぎり最高の教育を提供していることが確認されています。そして、このカリキュラム見直しのプロセスには、さまざまな文化と経験を有する教育者が参加します。こ

のプロセスにより、現場の実践者である教師が、プログラム開発で重要な役割を担うことになります。また、IBのビジョンが、独自の研究や権威ある学術団体の研究によって常に切磋琢磨されることも意味します。

IBの教育は、より良く、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者を育成することを目的としています。そして、この大志でつながれた教育者をまとめます。新しいグローバルな課題がかつてない速度で生じている現代にあって、IBの教育は、今まで以上に重要性を高めています。

参考文献

『国際バカロレア（IB）の教育とは』は、以下の英文資料をはじめとする多岐にわたる視点と文献を参考にしています。

Audet, RH and Jordan, LJ (eds). 2005. *Integrating Inquiry Across the Curriculum*. Thousand Oaks, CA, USA. Corwin Press.

Bates, R (ed). 2010. *Schooling Internationally: Globalisation, Internationalisation and the Future for International Schools*. London, UK. Routledge.

Berger, R, Woodfin, L, Vilen, A. 2016. *Learning that Lasts: Challenging, Engaging and Empowering Students with Deeper Instruction*. San Francisco, CA, USA. Jossey-Bass.

Boix Mansilla, V and Jackson, A. 2011. *Educating for Global Competence: Preparing our Youth to Engage the World*. New York, NY, USA. Council of Chief State School Officers and Asia Society Partnership for Global Learning.

Boyer, EL. 1995. *The Basic School: A Community for Learning*. Stanford, CA, USA. The Carnegie Foundation for the Advancement of Teaching.

Brooks, JG and Brooks, MG. 1999. *In Search of Understanding: The Case for Constructivist Classrooms*. Alexandria, VA, USA. Association for Supervision and Curriculum Development.

Bruner, J, Goodnow, J and Austin, G. 1986. *A Study of Thinking*. New Brunswick, NJ, USA. Transaction Publishers

Claxton, G. 2008. *What's the Point of School?: Rediscovering the Heart of Education*. Oxford, UK. Oneworld Publications.

Claxton, G et al. 2011. *The Learning Powered School: Pioneering 21st Century Education*. Bristol, UK. TLO Ltd.

Collins, HT, Czarra, FR and Smith, AF. 1995. *Guidelines for Global and International Studies Education: Challenges, Culture, Connections*. New York, NY, USA. American Forum for Global Education.

Costa, A and Kallick, B. 2009. *Habits of Mind Across the Curriculum: Practical and Creative Strategies for Teachers*. Alexandria, VA, USA. Association for Supervision and Curriculum Development.

Cummins, J. 2000. *Language, Power and Pedagogy*. Clevedon, UK. Multilingual Matters.

Delors, J et al. 1999. *Learning: The Treasure Within*. Report to UNESCO of the International Commission on Education for the Twenty-first Century. Paris, France. UNESCO.

- Dewey, J. 1909. *Moral Principles in Education*. In LA Hickman and TA Alexander (eds). *The Essential Dewey Volume 2*. 1998. Bloomington, IN, USA. Indiana University Press.
- Dewey, J. 1916. *Democracy and Education: An Introduction to the Philosophy of Education*. New York, NY, USA. Macmillan.
- Dewey, J. 1933. *How We Think: A Restatement of the Relation of Reflective Thinking to the Educative Process*. Boston, MA, USA. Heath.
- Dweck, C. 2006. *Mindset*. New York, NY, USA. Random House.
- English, F (ed). 2004. *Sage Handbook of Educational Leadership*. Thousand Oaks, CA, USA. Sage Publications.
- Erickson, HL. 2008. *Stirring the Head, Heart and Soul*. Heatherton, Victoria, Australia. Hawker Brownlow.
- Gardner, H. 2011. *Frames of Mind: The Theory of Multiple Intelligences*. New York, NY, USA. Basic Books.
- Grant, CA and Portera, A. 2011. *Intercultural and Multicultural Education: Enhancing Global Connectedness*. New York, NY, USA. Routledge.
- Grainger, T (ed). 2004. *The RoutledgeFalmer Reader in Language and Literacy*. London, UK. Routledge.
- Hanvey, R. 2004. *An Attainable Global Perspective*. New York, NY, USA. American Forum for Global Education.
- Hicks, D and Holden, C. 2007. *Teaching the Global Dimension: Key Principles and Effective Practice*. Oxford, UK. Routledge.
- Kincheloe, JL. 2004. *Critical Pedagogy: A Primer*. New York, NY, USA. Peter Lang.
- Lucas, B, Claxton, G. and Spencer, E. 2013. *Expansive Education: Teaching Learners for the Real World*. Maidenhead, UK. McGraw-Hill.
- McWilliam, E. 8-10 January 2007. "Unlearning how to teach". Paper presented at *Creativity or Conformity? Building Cultures of Creativity in Higher Education*. Cardiff, UK.
- Murdoch, K and Hornsby, D. 1997. *Planning Curriculum Connections: Whole-school Planning for Integrated Curriculum*. Melbourne, Victoria, Australia. Eleanor Curtin Publishing.
- Perkins, D. 2009. *Making Learning Whole*. San Francisco, CA, USA. Jossey-Bass.
- Perkins, D. 2014. *Future Wise: Educating Our Children for a Changing World*. San Francisco, CA, USA. Jossey-Bass.
- Piaget, J. 1970. *Structuralism*. New York, NY, USA. Basic Books.
- Pike, G and Selby, D. 1989. *Global Teacher, Global Learner* (second edition). London, UK. Hodder & Stoughton.
- Ritchhart, R. 2002. *Intellectual Character: What It Is, Why It Matters and How to Get It*. San Francisco, CA, USA. Jossey-Bass.

Ritchhart, R, Church, M and Morrison, K. 2011. *Making Thinking Visible: How to promote engagement, understanding, and independence for all learners*. San Francisco, CA, USA. Jossey-Bass.

Schön, D. 1983. *The Reflective Practitioner: How Professionals Think in Action*. London, UK. Temple Smith.

Sherrington, T. 2017. *The Learning Rainforest: Great Teaching in Real Classrooms*. Woodbridge, UK. John Catt.

Stiggins, RJ. 2001. *Student-involved Classroom Assessment (third edition)*. Upper Saddle River, NJ, USA. Merrill/Prentice-Hall.

Suarez-Orozco, M. 2007. *Learning in the Global Era: International Perspectives on Globalization and Education*. Berkeley, CA, USA. University of California Press.

Tough, P. 2013. *How Children Succeed: Grit, Curiosity and the Hidden Power of Character*. London, UK. Random House.

Vygotsky, LS. 1986. *Thought and Language (revised and translated by Alex Kozulin)*. Cambridge, MA, USA. MIT Press.

Walker, G (ed). 2011. *The Changing Face of International Education: Challenges for the IB*. Cardiff, UK. International Baccalaureate Organization.

Wiggins, G and McTighe, J. 2005. *Understanding by Design*. New Jersey, USA. Pearson.